

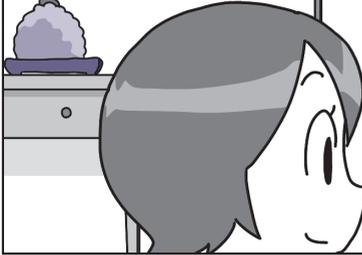
2022 高校激変!

康平 (15)
高校1年生

遠山令子 (43)
まりこのママ友

上原まりこ (43)
康平(高1)と真菜(中2)の母

ただいま!



でも今年の高校1年生は大変よね。がんばって!



まあねー。

キリッ

どう? 高校生活はもう慣れた?



あら、康平君。おかえりなさい。

こっぴどく

あ、おかえり。



えー!?

マジかー!!



だって今年は2022年。高校激変の年じゃない。

何? 「今年の高校1年生は大変」って。



ほーい。

ちよっとまって!

ちいこちいこ

高校での学習が、大きく変化します!

科目名をみても、「日本史探究」「世界史探究」「地理探究」「古典探究」「理数探究」など、「総合的な学習の時間」も高校では「総合的な探究の時間」となり、より深く踏み込んだ学びを高校に求めていることがわかります。

教科に関わらず、SDGsなどの社会的に注目される問題を通じて自分の考えをまとめ、授業で話し合いを促す内容なども目立ちます。

これまで「英語教育改革」とも呼ばれてきた英語の変化にも注意が必要です。小学英語の教科化から始まり、高校英語のカリキュラム変更をたどると、移行措置期間を含め、約7年間に及ぶ大改革。その先頭を走ってきたのが、2022年度の高1生だからです。

なるほど…。今までと同じというわけではなさそうね。
そうですね。まずは英語から、詳しく見ていきましょう。

Q 高校の学習指導要領はどう変わるの？

A 「探究」がキーワードです。

高校の学習指導要領のキーワードは、ズバリ「探究」です。課題解決のための資質や能力の育成を目標とした「探究学習」重視の教科書になっているのがポイントです。

思考力・判断力・表現力を重視する学習や、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング・AL）の導入など、討論や調べ学習などの内容が多く記載されていて、子どもたちが自ら調べ、学ぶ授業へと転換が図られています。

Q 小学・中学の変化と比べて、何か大きく変わるの？

A 高校新課程の激変ポイントは、教科や科目の再編です。

全面再編される教科は「地理歴史」「外国語（英語）」「国語」、そして「理数（新設）」です。詳細は後述しますが、文系・理系を問わず必修となった「歴史総合」「地理総合」、主権者教育を行う「公共」、プログラミングを学ぶ「情報I」、数学や理科の考え方を身につける「理数」など、科目再編は新課程の激変ポイント。

新しい科目や新しい教科書で学ぶのは、2022年度の高1生が初めて。また、これらに対応した大学入試も、2025年度から新科目が出題される予定で、2022年度の高1生から対象となります。

